

# 伊賀市教育研究センター

2024年2月15日（木）

# た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX:0595(21)8839

URL:<http://www.iga.ed.jp/igaken>

E-mail:[iga-ken@iga.ed.jp](mailto:iga-ken@iga.ed.jp)

三重県教育委員会では、これからの時代における教育施策を総合的かつ計画的に推進することができるよう、「三重県教育振興ビジョン」を策定しようとしています。

本ビジョンの計画期間は、令和6（2024）年度から令和9（2027）年度となっています。当然ながら、本ビジョンに沿って今後県の教育行政が行われていくと思われまますので、確認しておく必要があります。ここでは、すでに出されている中間案で学校教育にかかわる評価指標を取り上げてみましょう。

## 三重県教育振興ビジョン評価指標（中間案）

項目	現状値(R5)	目標値(R9)
地域と連携した教育活動に取り組んでいる小中学校の割合	小学校 75.4% 中学校 59.5%	小学校 100% 中学校 100%
ICT 機器を使うのは勉強の役に立つと思う子どもの割合	小学校 68.4% 中学校 61.4%	小学校 72.5% 中学校 65.5%
1人1台端末を効果的に活用して指導できる教職員の割合	81.8%	100%
総勤務時間に関する教職員の満足度	2.37	2.71
研修とその後の教育実践により自らの資質能力の向上が図られたとする教職員の割合	51.2%	62.0%
家庭や地域と連携した防災の取組を実施している学校の割合	83.6%	100%
日本語指導が必要な児童生徒に対して、個々の日本語習得レベルに応じた教育を組織的に行っている学校の割合	小学校 79.0% 中学校 90.9%	小学校 100% 中学校 100%
学校内外で専門的な相談・指導を受けた不登校児童生徒の割合	小学生 70.9% 中学生 61.5%	小学生 89.1% 中学生 88.6%
いじめの認知件数に対して解消したものの割合	92.1%	100%
スクールカウンセラー、相談員、養護教諭を積極的に活用して教育相談体制の充実を図った学校の割合	小学校 97.4% 中学校 96.0%	小学校 100% 中学校 100%
いじめや暴力の心配がなく、学校生活に安心を感じている子どもたちの割合	小学生 96.0% 中学生 98.0%	小学生 100% 中学生 100%
いじめをなくそうと行動する子どもたちの割合	88.2%	100%
通級指導教室による指導担当教員の専門性向上を図る年間を通じた研修を受講した教員の数	30人	180人
国際的視野や論理的・科学的思考力、探究心を育む取組に参加した生徒の数	中学生 1321人	中学生 1600人

地域や社会をよくするために何かしてみたいと考える子どもたちの割合	小学生 77.9% 中学生 68.8%	小学生 80.0% 中学生 70.0%
目標を持って学習や活動に取り組んでいる子どもたちの割合	小学生 90.9% 中学生 90.5%	小学生 100% 中学生 100%
運動する時間を自ら確保している子どもたちの割合	小学生 39.2% 中学生 77.4%	小学生 45.3% 中学生 78.4%
運動部活動の地域連携・地域移行を進めた中学校の割合	51.0%	100%
授業時間以外に読書をする子どもたちの割合	小学生 57.2% 中学生 44.7%	小学生 60.0% 中学生 49.4%
道徳の授業で「考え、議論」している子どもたちの割合	小学生 82.1% 中学生 87.3%	小学生 87.0% 中学生 90.0%
学校における人権教育を通じて、人権を守るための行動をしたいと感じるようになった子どもたちの割合	93.1%	100%
保幼小接続に関する研修等を実施した市町の数	21 市町	29 市町
「全国学力・学習状況調査」における本県の子どもたちの学力の伸び	小学生 97.1 中学生 98.4	小学生 101.0 中学生 102.0
授業で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいると思う子どもたちの割合	小学生 79.1% 中学生 81.6%	小学生 82.4% 中学生 87.4%
授業時間以外に読書をする子どもたちの割合	小学生 57.2% 中学生 44.7%	小学生 60.0% 中学生 49.4%
朝食を食べている子どもたちの割合	小学生 93.6% 中学生 91.5%	小学生 95.1% 中学生 93.1%
ふだんの生活の中で、幸せな気持ちになることがある子どもたちの割合	小学生 90.1% 中学生 87.9%	小学生 91.0% 中学生 90.0%
自分にはよいところがあると思う子どもたちの割合	小学生 81.9% 中学生 80.9%	小学生 84.0% 中学生 82.0%

この評価指標の設定にあたっては、一人ひとりが自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者の感性や考え方を尊重し、多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り拓き、「持続可能な社会の創り手」になることをめざすという考え方が込められています。

また、超スマート社会において求められる人材像をふまえ、個々人が自立して自らの個性・能力を伸長するとともに、多様な価値観に基づいて新たな価値を生み出していくために必要な力を備えていくことも重要視されています。

そして、最後に子どもたちに育みたい力として「自立する力」、「共生する力」、「創造する力」の三点を挙げています。

三重の教育ビジョンは、学校経営方針や学校マニフェストを立案するにあたって大いに参考にしたいところです。

教育研究センターでの研修も教育における「不易と流行」を十分見極めながら、さらに充実させていきたいと思ひます。